

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人発達支援ますと福島 発達支援センターますと		
○保護者評価実施期間	令和7年3月6日		～ 令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年3月6日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月6日		～ 令和7年 3月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5か所	(回答数) 5か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・それぞれの年齢等に合わせて、専門的かつ経験豊かな職員を訪問員として派遣することができている。	・記録の活用 情報提供書の作成 モニタリングだけでなく、通院に合わせて情報提供書を作成する。	・現在は、情報提供書を使い、保護者への特性理解と支援の具体的な仕方を伝えたり、保護者がより深く子どもの特性を理解することに役立てている。通院先への説明は通園・保護者にお任せしているが、直接ご説明する機会を設けられるようになるようにしていきたい。
2	・当事業所の中でも各種発達検査を行うことができる。	・標準化されたエビデンスを参考にしてアセスメントを行い、できるだけ個人の経験だけに頼らない療育を心がけている。	・地域医療からも信頼される事業所となるべく、アセスメント力の向上と報告書等の記載内容を充実させていく。また、検査結果等が直接的な支援に役立つものとなるように研鑽を積んでいく。
3	・児童発達支援・放課後等デイサービスの中でより丁寧なアセスメントを行い、訪問先の職員に伝えることができている。	事業所内では、個人情報に留意したうえで、事業所内の職員だけに限らず、大学の教授・他県の児童専門の言語聴覚士・特別支援教諭等多様な人材から意見を聞くようにしている。保育所等訪問の在り方についても実際に経験を重ねた他県の指導員からのアドバイスを参考にしている。	地域全体にこうした体験を伝え、インクルーシブ保育・教育を広めていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問の件数が増えると児発での様子が十分に見ることができなくなる。	要望が多く、一人の訪問支援員が抱えている件数が増えることがある。	来年度は、訪問支援員の数を増やすことと、それが可能になるまでは、1ヶ月に1回の訪問にしていこうと考えている。
2	・面談などにおいて、個人情報についての徹底した管理がしにくい。	事業所内の学習室に相談室・事務スペースを併設しているため、面談の時にどうしてもそばにいる職員が聞くようになってしまう。	来年度より、同じ建物内の1室を面談・会議スペースとして借りようと考えている。
3	地域の中で初めて導入された事業なので、受け入れ施設への遠慮もあり、直接支援の方法について迷うことが多い。	昨年夏にやっと市行政からの許可が下りた事業でもあり、地域全体での療育環境の質を上げていく必要だと感じている。	回数を重ねることで現場の先生たちとの信頼関係を築き、先生たちからも要望を出してもらえるようにしていく。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 一般社団法人発達支援ますと福島 発達支援センターますと

公表日 令和7年 3月 14日

利用児童数 22名 令和7年 3月12日 回収数 18

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	15			3	・保育所にある教材以外でどんな教材を訪問時に使用しているかわからなかったため	保育所等で撮影させていただいた用具等の支援カードを使わせていただいています。教具についてはできるだけ、現場にあるものを使いますが、アセスメントツールをお持ちして、試していただくこともあります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	14	3		1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18					
適切 か	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	18					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					

は 支 援 の 提 供	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18				
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	18				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	18				
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	18				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18				

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	18				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	18				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	18				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	18				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18				
	28	事業所の支援に満足していますか。	18				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		令和7年 3月 14日	
一般社団法人発達支援ますと福島 発達支援センターますと		利用児童数		22名 令和7年 3月 12日 回収数 5箇所	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめは、個別支援会議などで専門的な言葉やアイテム「はあ」と理解できない私たちでしたが、根気よく説明してくださいました。</li> <li>・どのように支援したかを付帯的に教えてくださるので、次の支援に役立っている。</li> <li>・一人一人の幼児の特性や支援方法をわかりやすく説明していただき、集団の中での効果的な支援に活かすことができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議に時間を割いていただき、毎回私たち自身も学びの時とすることができました。</li> <li>・現場の先生たちの思い等に寄り添えるように今後も努力していきます。</li> </ul>
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら取り入れられるところを柔軟に学んで吸収したいと思いません。なかなか職員間で学ぶことを共有できないところもあります。</li> <li>・他の児童についてもご相談させていただき、アドバイスをいただいて助かっている。</li> <li>・検査内容等を踏まえ、専門的な視点から説明していただき知識を深めることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生たちにお伝えしたこと、共有した内容を記録に残し、お渡しするように今後も努力いたします。</li> </ul>
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ますとでの様子やその子にあった支援の仕方等ヒントをくださいます。なかなかクラスで取り入れることが難しいこともあります。</li> <li>・担任がこのような時にどうしたらよいかと相談した際には、具体的な話をしてくださり、その後の指導に役立てられています。</li> <li>・児童の特性に応じた指導と一緒に考えていただき、とても助かっています。</li> <li>・その都度の適切なアドバイスありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの中での対応は個別対応が十分に可能な人数のますとと同じにするのは難しく、支援員が集団の中で何ができるかを考えてお伝えしなくてはならないと感じています。先生たちの率直な意見がお聞きできるように今後も信頼関係をつくっていきたく思います。</li> </ul>
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問の仕方について、説明を受けていたイメージが違った部分もあって、職員が戸惑っていたこともありましたが、回を重ねていくうちにその子にあった支援方法がわかってきました。</li> <li>・支援児童についてご支援いただけるため、他の児童へ始動する時間が増えて助かる。</li> <li>・課題や困りごとを共有できる機会となり、先生方にとっても支援内容を見直すきっかけとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前説明のあり方についてもっと勉強が必要ですね。今後の参考にさせていただきます。</li> <li>・直接的な支援がクラス運営、対象児童だけにとどまっていらないということが私たちにとってうれしいことです。</li> </ul>
5 事業所からの支援に満足していますか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりに本当に丁寧な支援や言葉かけをしていることや励みになると私自身が勉強になることが多くあります。</li> <li>・交流授業と一緒に参加していただき、児童が安心して取り組むことができています。</li> <li>・専門的な知識や方法を意識付けしていただき、保育に生かされるように少しずつなっていることに感謝です。</li> <li>・情報の共有や保護者との連絡なども含め、連携を深めることで一人一人に合った支援につなげることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もこうした言葉をいただけるように努力してまいります。</li> </ul>
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援を通してまた、会議を通して一人一人の特性や目標課題を明確に示していただき、私たちの保育にもたくさんの気づきをいただきました。来年度もよろしくお願いたします。</li> <li>・毎月、1回にさせていただきたいです。</li> <li>・廊下などから子供の様子を客観的に見ていただく日もあるといいのかと思いました。</li> <li>・利用している子が多いため、保育時間に間に合うよう、ケース会議を進めたいと考えています。</li> <li>・訪問支援、情報共有会議ともに支援方法を教えていただけることで、担任にとってとても貴重な機会となっております。引き続きよろしくお願いたします。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回という保護者様への説明から少し、無理をして訪問を入れることがあったことが反省点です。月1回の訪問については前向きに検討させていただきます。</li> <li>・廊下から客観的に見る機会も設けていきたいと思えます。先生たちからもその日の保育に合わせて支援の仕方をオーダーしていただけるようになるように努力いたします。</li> <li>・ケース会議は、できるだけ保育に支障がないように短時間で充実した内容となるように映像などもお見せしながら、わかりやすく情報を共有していきたいと思えます。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		一般社団法人発達支援ますと福島 発達支援センターますと			公表日	2025年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		お子さんの感覚・姿勢に合わせて、補助具やセンサーアイテムを紹介している。	もっと、現場でも活用しやすいように直接的な支援の場を増やしていきたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		月2回の訪問となると足りないと感じることがある。	訪問回数を見直す。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		時間が取れないこともあり、十分とは言えないが、問題ごとにその場で意見を求めて改善すべきことは改善している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		昨年度の結果を受けて改善すべきことは行った。今年度も行う予定。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を取り入れるように努力している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	行っていない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		2か月に一回の外部講師を招いてのケース検討会をはじめ、様々な研修を紹介している。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		標準化された検査結果をもとに計画は作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		話し合いをしながらすすめている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		意見を盛り込んで計画を立てている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		事前に個別支援計画を渡してある。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		おこなっている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必要に応じて、チームで行動しその日の担当を決めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・事務室にいる職員同士でその日の情報や様子を共有している。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		行っている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		サービス提供記録は必須。その他にも『報告書』を作成している。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		体制は整える努力を常にしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相互理解が図れる学校とそうでない学校がある。担任や校長の考えに翻弄されることがある。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		講師を招くこともある。また、協会・学会にも所属している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		サービス提供記録により、毎回伝えコメントもいただくことが多い。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度はペアトレを1回。ピアカウンセリングを4回実施している。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		1時間以上かけて丁寧に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		市行政職員、相談支援事業所とともに説明を行った。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもの権利条約は常に意識している。保護者に対して子どもの代弁者として伝える機会もある。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		しっかりとおこなっている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		3か月に1回、保護者同士で話し合える場や講師を呼んで情報や知識を共有できるようにしている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		24時間体制で行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的にホームページで情報を更新している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員室で行う面談の時に留意する必要があると思います。	来年度、面談室兼職員の休憩室として隣接するアパートの一室をお借りする予定です。
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		その子の特性に合った方法で伝達を行っている。		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		月1回は会議を設けている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		サービス提供記録の中で行っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	相談のスペースに課題がある。鍵のついたロッカーなどに個人情報は入れている。	同じ建物の中で会議、相談スペースのための部屋を借りる予定。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	それぞれの専門性を生かした助言を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	玄関に貼ってあるが、周知に関しては十分とは言えない。	活動記録やホームページを積極的に活用していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	午後の利用者は時間が短く、なかなかその時間を設けることが難しかった。年、4回は実施できた。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	しっかりとおこなっている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修会に参加し、知識を報告書なども使用し周知してもらっている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	しているが、ほぼ使う機会はない。	